

令和5年度 国語科

第3学年「古典B」年間指導計画

教科	国語	科目	古典B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	新高等学校古典B(明治書院)						
副教材等	新明説総合古典文法(尚文出版) 新明説総合古典文法ノート(尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・1・2年生での学習の基礎の上に、古文や漢文を自力で正しく読解できるように文法や語彙力を磨きましょう。
- ・思考、表現、理解、また社会生活に必要なための日本語の力を身につけましょう。
- ・古典作品の豊かな世界を味わい、正確に読解できるように多様な知識を増やしましょう。
- ・漢字、熟語やさまざまな表現を正確に使えるように日本語の語彙力を豊かにしましょう。

2 学習の到達目標

- 1, 2年での古典の学習に続き、様々な教材を取り上げ、幅広く学習することで、古典の内容を的確に捉え、理解する力を高める。
- 古典に用いられている語句の意味や用法、表現上の特色や構造への理解、文章に表れた思想や感情の読み取りなどを通して、国語についての認識を高め、言語感覚を養う。
- 優れた表現に親しみ、特に日本と中国の文化の関係を考える。
- 古典に表れたその時代の思想や感情に触れ、自らのものの見方、感じ方、考え方を豊かにするとともに、古典に親しむ態度を身に付ける。
- 大学などの入試に対応できるような演習の機会も設けて実践力をつける。

3 学習評価(評価の規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 points の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	授業の取り組み姿勢 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績			テキストの音読 応答と発問 小テスト・定期考査の成績	応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価をする。					

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元	教材	評価の観点					単元の評価規準	評価方法の観点
			a	b	c	d	e		
一学期	説話	博雅の三位と鬼の笛 (十訓抄)	○			○	○	a: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	歴史物語	大鏡 花山天皇の退位 肝試し	○			○	○		
	日記	蜻蛉日記 町の小路の女 紫式部日記 秋のけはひ	○			○	○		
	1 逸話	王昭君 (西京雜記) 青眼白眼 (蒙求)	○			○	○		
	2 小説	死友 (搜神記) 酒虫 (聊齋志異)	○			○	○		
一学期	物語	源氏物語 光源氏誕生 小柴垣のもと	○			○	○	a: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
	評論	文 (無名草子)	○			○	○		
		おもて歌のこと (無名抄)	○			○	○		
		田舎に雅言の残れること (玉勝間)	○			○	○		
	史話・史伝	史記 鴻門之会 四面楚歌	○			○	○		
	詩	桃夭 (詩經) 子夜呉歌 李白	○			○	○		
近世小説	世間胸算用 鼠の文使ひ	○			○	○			
三学期	思想	孟子 荀子 老子 莊子 韓非子 諸子百家	○			○	○	a: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 d: 考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e: 漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力 c: 書く能力
d: 読む能力 e: 知識・理解

※ 年間指導計画 (例) 作成上注意

- 原則として一つの単元 (題材) で全ての観点について評価することとなるが、学習内容 (小単元) の各項目において特に重点的に評価を行う観点 (もしくは重み付けを行う観点) について○を付けている。